

B 津軽海峡資源分布調査

I 調査目的

津軽海峡における冬季の底魚資源を刺網漁業によって調査し、その資源調査を把握して沿岸漁業の発展に寄与する。

II 調査内容

1 調査期間

昭和48年11月1日～12月31日まで

2 調査場所

尻矢崎沖から大崎沖（津軽海峡）

3 調査員および調査船

調査員	主任研究員	齋藤重男
	技師	十三邦昭
調査船	試験船	青鵬丸（19.94トン、170馬力）
	船長	中川武光 外5名

4 調査項目

(1) 環境調査

A 表層、底層水温

B 底質

(2) 生物調査

A 魚の種類と分布状況

B 魚体調査（体長、体重、性別、食性、生殖腺重量）

(3) 標識放流

5 調査方法

(1) 環境調査

A 調査点は1～195点とし、各点の調査点は実情に応じ1回～2回とする。

B 操業の都度表層および底層水温を測定する。

(2) 生物調査

A 各調査点の漁具別、漁獲個体数及び重量

B 魚体調査（カレイ類、ヒラメ各10尾）

III 調査結果

48年11月14日大畑北東3裡（水深80～90m）で調査を開始したが網を紛失し、再び漁具を整備し、待機中のところ季節風による時化の連続で1回の試験操業もできず調査を終了した。

漁 場

次の基点A、点a、b、c、d、eおよび基点Eを順次に結んだ6直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域

- 基点A 下北郡東通村尻矢崎灯台
- B 下北郡易国間村下風呂港北防波堤突端
- C 下北郡大間町弁天島北端に設置した標柱
- D 下北郡佐井村佐井港灯台
- E 下北郡脇野沢村大崎突端
- 点 a 基点Aから正北4裡の点
- b 基点Bから正北4裡の点
- c 基点Cから正北5裡の点
- d 基点Dから正西10裡の点
- e 基点Eから正西3.6裡の点

